

いま なぜ 石炭火力発電が問題なのか

2018年 1月27日

山本 元（NPO法人気候ネットワーク）

yamamoto@kiconet.org



今、各地で進む石炭火力発電所の計画



2012年以降に計画された数

× 50基

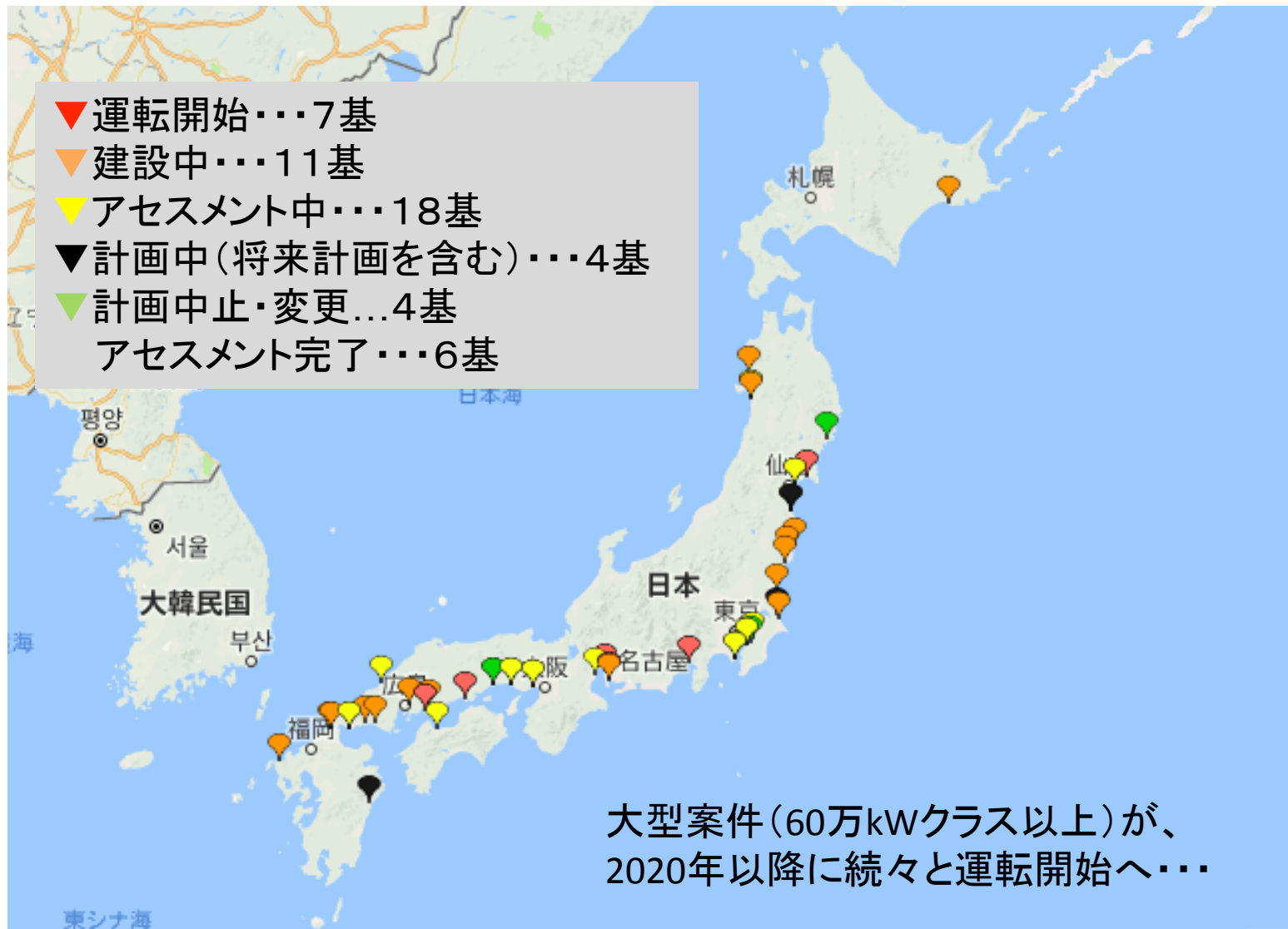
2,332.3万kW

稼働5基 (61.2万kW)

中止4基 (231.2万kW)

計画中41基 (2,039.9万kW)

各地で進む建設計画



「2℃目標」のため、化石燃料の大半は 地中に止めておかないといけない エネルギーの作り方・使い方を変える必要性

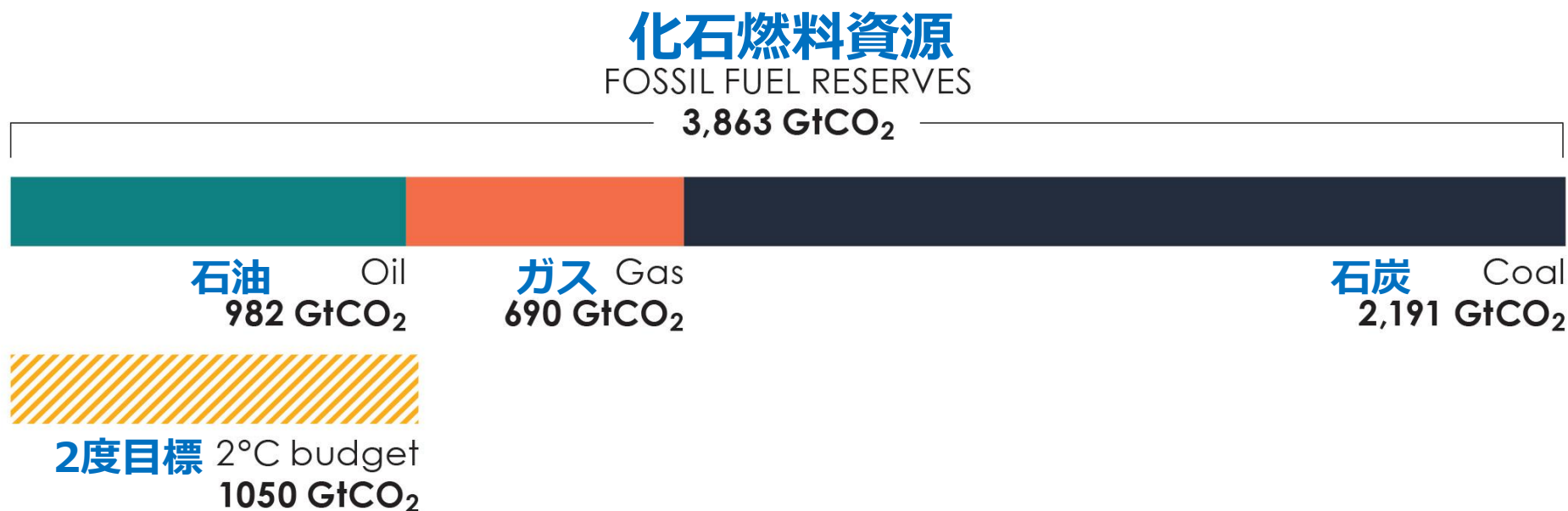
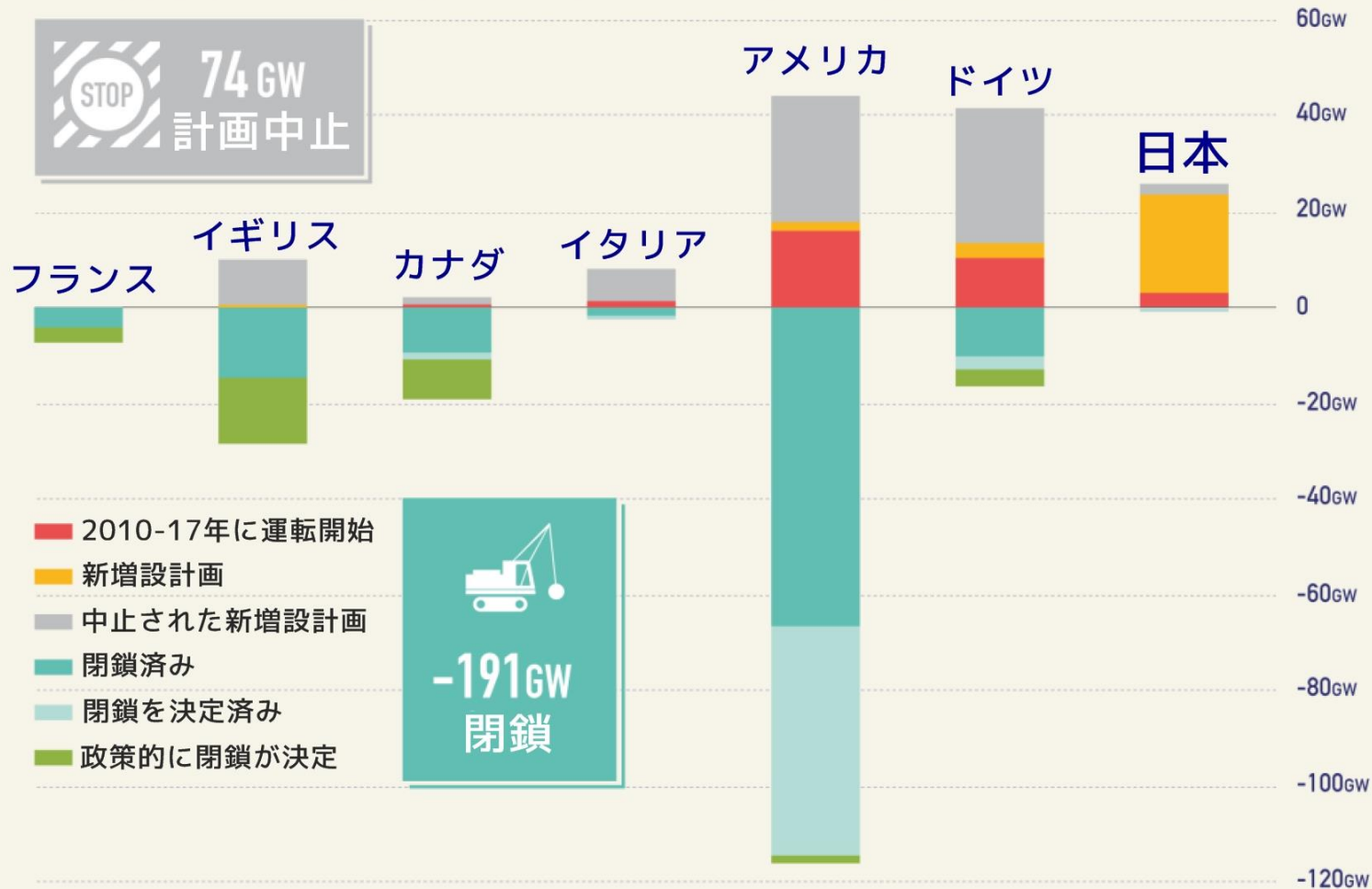


Figure 2: Conventional and unconventional fossil fuel reserves of coal, oil and gas, and the remaining global carbon budget compatible with scenarios limiting global mean warming to 2°C above pre-industrial temperatures. Source of Fossil Fuel Reserves: IPCC, 2011, Figure 1.7; Source of Carbon Budget: IPCC, 2013a and IPCC erratum, 2013b, adapted.

先進国で突出して石炭火力を推進

G7石炭火力発電の動向 2010-17年とそれ以降*



Source: CoalSwarm Global Coal Plant Tracker, Kiko Network Japan Coal Map, Sierra Club, E3G analysis. Canada profile includes closure of one plant in 2005 as part of Ontario coal phase out plan. *Includes coal plants with closure dates already announced plus closures due to result from government policy commitments.

脱石炭に向けたグローバル連盟

Powering Past Coal Alliance (PPCA)

- 石炭火力の段階的廃止を目指す国・地域・企業の連合
 - 既存の石炭火力発電を段階的廃止
 - 石炭火力発電所の新規建設を停止（CCSなしの場合）
 - ビジネス等の石炭なしの事業にコミット
 - 海外への石炭火力発電への支援をやめる
- COP23会期中にカナダ・イギリスが主導し設立。
- 26ヶ国、8地方政府、24企業・機関が参加。



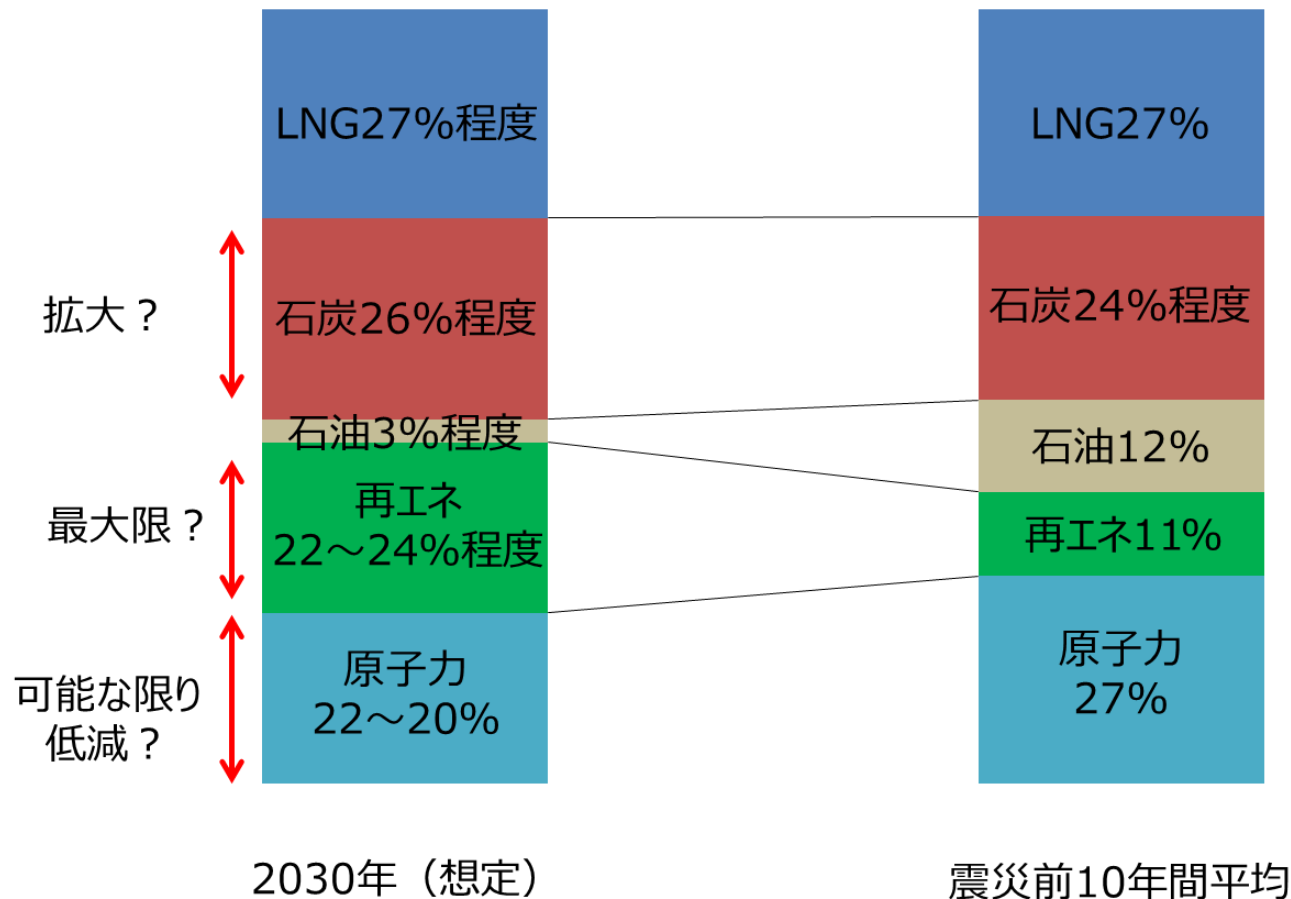
アジアでも始まった脱石炭の動き

- 中国：第13次五カ年計画**
 2020年に石炭火力発電所を110GWに抑える
100ヶ所の計画を中止
 - インド：31基**の石炭火力発電所の**建設が中止**。
 - 韓国：唐津火力2基**の計画が**無期延期**に。
 新大統領は、「脱原発・脱石炭路線」を決定。
- 大気汚染対策と気候変動政策の両立をめざす。

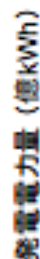
日本のエネルギー政策

2030年に「石炭」が26%

- 長期エネルギー需給見通しにおける電源構成（エネルギーミックス）の想定

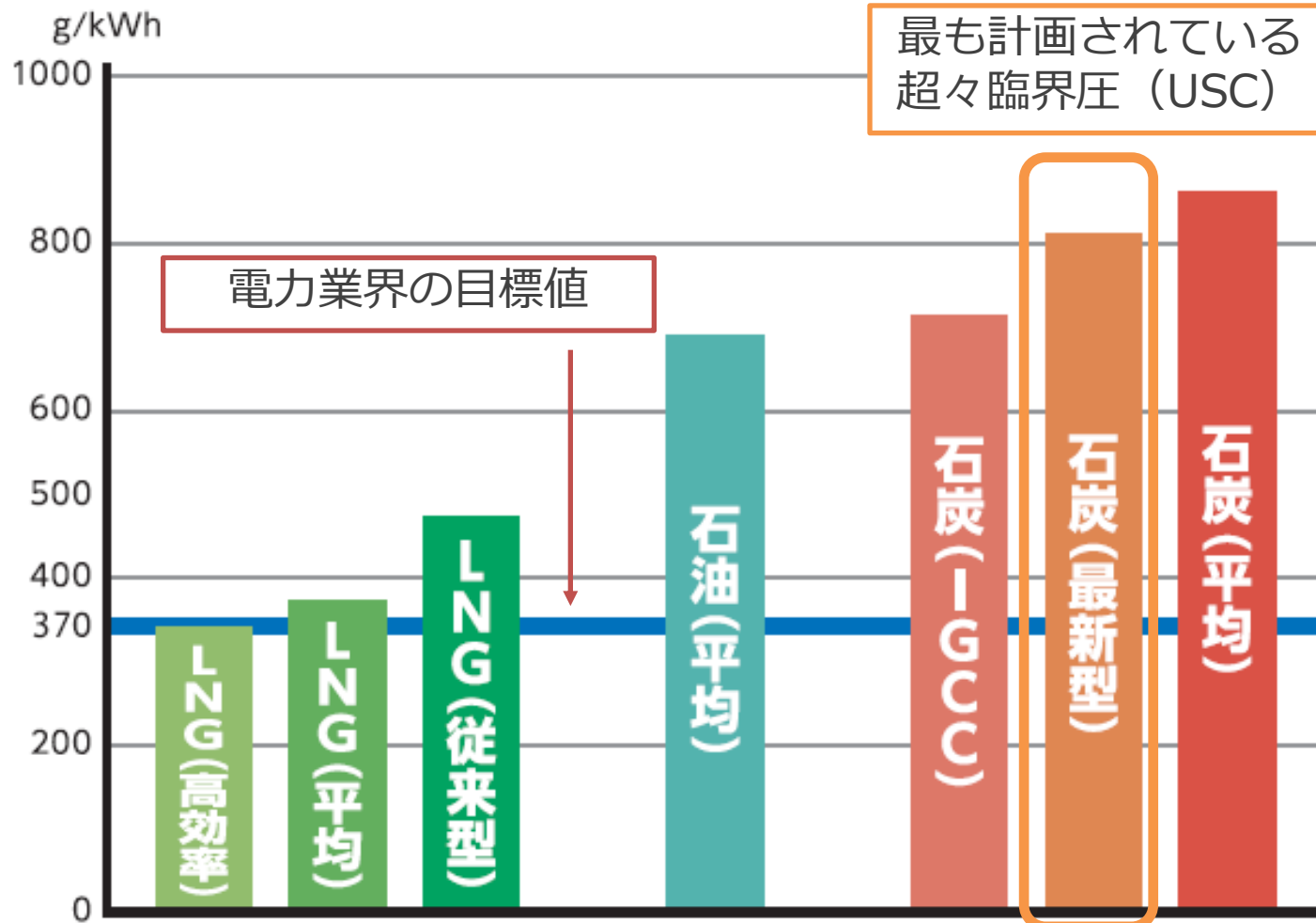


電力需要



電源別排出量

最もCO₂を排出するのは「石炭」



出典) 資源エネルギー庁

各地で計画反対の運動が起こる

- 仙台港の石炭火力発電所建設問題を考える会
- 石炭火力を考える東京湾の会（略称：東京湾の会）
 - 蘇我石炭火力発電所計画を考える会（千葉県）
 - 石炭火力を考える市原の会（千葉県）
 - 袖ヶ浦市民が望む政策研究会（千葉県）
 - 横須賀石炭火力発電所建設について考える会（神奈川県）
- 高砂の石炭火力発電所増設を考える会
- 神戸の石炭火力発電を考える会
- 神鋼石炭火力発電所増設問題を考える芦屋市民の会

8月1日 兵庫県知事、神戸市長へ 厳正なる審査を求める要請書を提出

神鋼発電所 厳正審査を

公害患者ら、県と市に要請書

四大大気汚染訴訟の一つ「西淀川公害訴訟」の患者、遺族らでつくる団体など二写真Ⅱは1日、神戸製鋼所が神戸市灘区に建設を予定している石炭火力発電所について「大気汚染物質を大量に排出し、神戸・阪神地域に重大な環境影響をもたらす」として、井戸敏三兵庫県知事と久元喜造神戸市長に厳正な審査をするよう求める要請書を提出した。

計画で、環境影響評価の準備書を7月に公開し、これをもとに住民が意見を表明、その後、知事・市長意見を作成する。

要請書を出したのは「西淀川公害患者と家族の会」「神戸公害患者と家族の会」など8団体。要請書は「かつて大気汚染が深刻だった住宅地の近くに建設され、環境回復への努力を無にする。国や県が掲げる温暖化対策にも逆行する」と批判。PM2.5の環境影響評価が行われず、二酸化炭素総排出量なども公表していないなどと問題点を指摘した。

神鋼は神戸市内に2021、22年度に2基の石炭火力発電所を建設・稼働する



4回にわたって県・市へ要請書を提出

2017/08/02 神戸新聞より

審査会においてデータを開示させるなどの成果

神戸製鋼の石炭火力発電所



692万t/CO₂
(1年間)



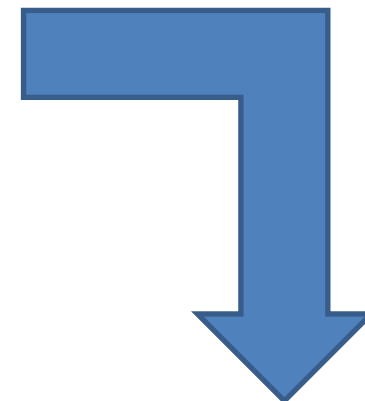
730万t/CO₂
(2016)



知らされなかった、大気汚染物質の総排出量

・神戸製鉄所では、現在、高炉と石炭火力発電所が2基かどうしています。そのうち高炉が休止される予定です。
それに伴い、**大気汚染物質の排出量が減る**と説明してきました。
本当でしょうか？

・神戸製鉄所・既設の発電所からの、**現在の汚染物質の排出量と、将来の排出量を比べた場合の増減**は、準備書では明らかにされていません。説明会でも、事業者は回答を避けました。
・説明会でも、既設石炭火力、高炉それぞれから排出される汚染物質の排出量を示すように求めても、神鋼は回答を避けました



	協定値 (年間排出量) ト/年	現状 (2007～2016実績)		将来 利用率最大 (80%)
SO _x	730	製鉄所	123～179	706
		既設発電所	287～341	
		計	410～520	
NO _x	1500	製鉄所	240～470	1457
		既設発電所	696～858	
		計	936～1328	
ばいじん	250	製鉄所	11～73	203
		既設発電所	34～69	
		計	45～142	

ところが、神鋼は、9/20の神戸市審査会において、委員の求めに応じ。排出量を明らかにしました。

いずれの項目においても、発電所増設に伴い、排出量が**大幅に増加**することが明らかになりました。

法的アクションへ！

- 仙台パワーステーション操業差止訴訟
- 神戸製鋼・関西電力に対して公害調停を申請



↑
仙台パワーステーション操業差止訴訟

神戸製鋼・コベルコパワー神戸、関電
公害調停





石炭帝国と戦う正義のヒーロー
アンチコールマン

Twitter : @anticoalman

ご清聴ありがとうございました。

ご質問・ご意見は気候ネットワーク
京都事務所の山本までお気軽にお寄せ下さい。

メール : yamamoto@kiconet.org

電話 : 075-254-1011、FAX : 075-254-1012

URL : <http://www.kiconet.org>

気候ネットワークは地球温暖化を防ぐために市民の立場から提案×
発信×行動するNGO/NPOです。気候ネットワークは多くの方々のご
参加・ご支援によって支えられています。どうか、ご支援をよろしく願
いいたします。オンライン寄付・入会ページは次よりアクセスできます。

URL : <http://www.kiconet.org/category/support/>

(右のQRコードからもオンライン寄付・入会ページにアクセスできます)

